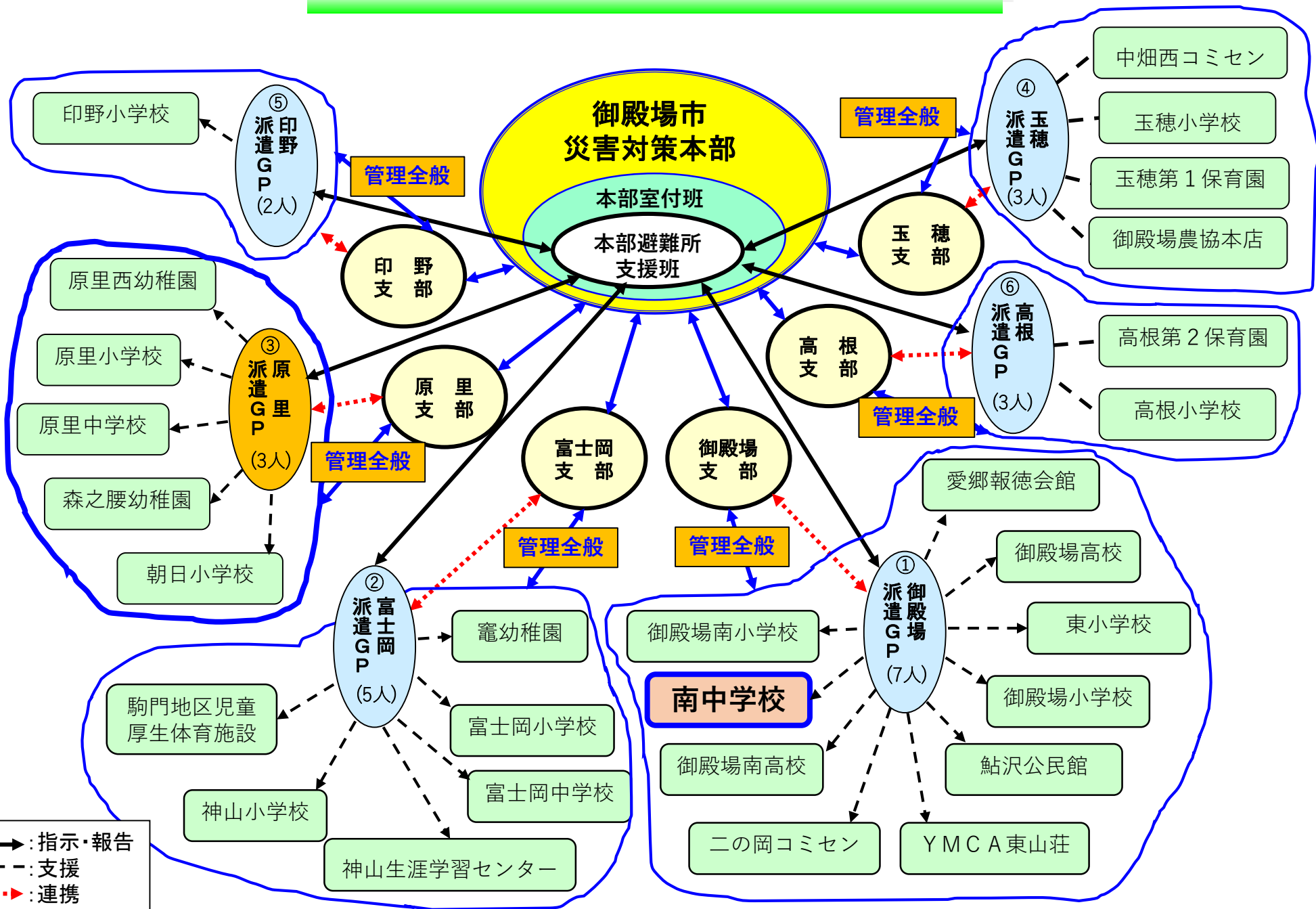


『市指定避難所における開設・運営訓練』 ～永原区自主防災訓練について(計画・成果)～

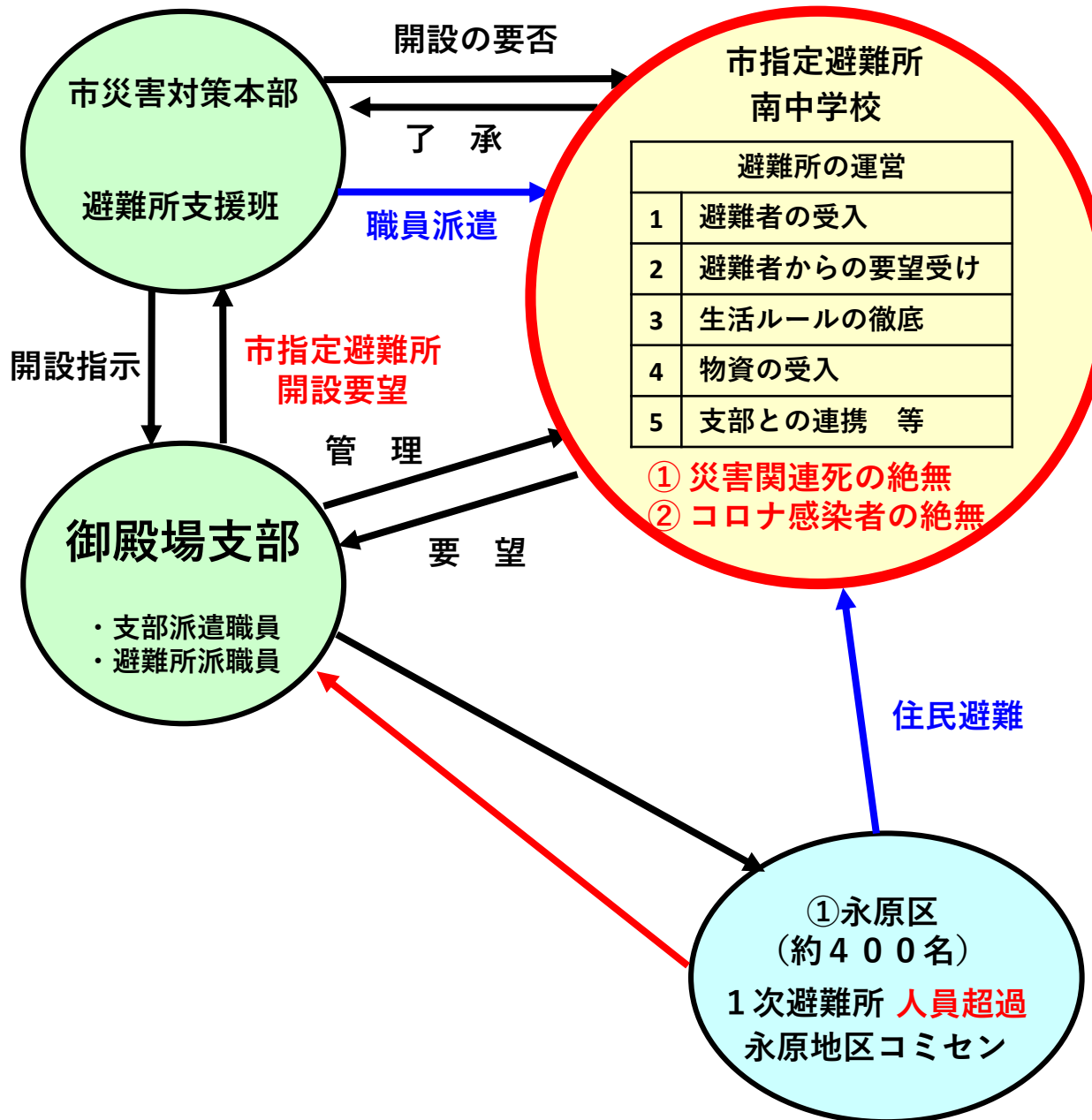


R 6 . 1 1 . 2 4
御 殿 場 市 危 機 管 理 監

御殿場市指定避難所運営組織



南中学校避難所関係組織連絡網



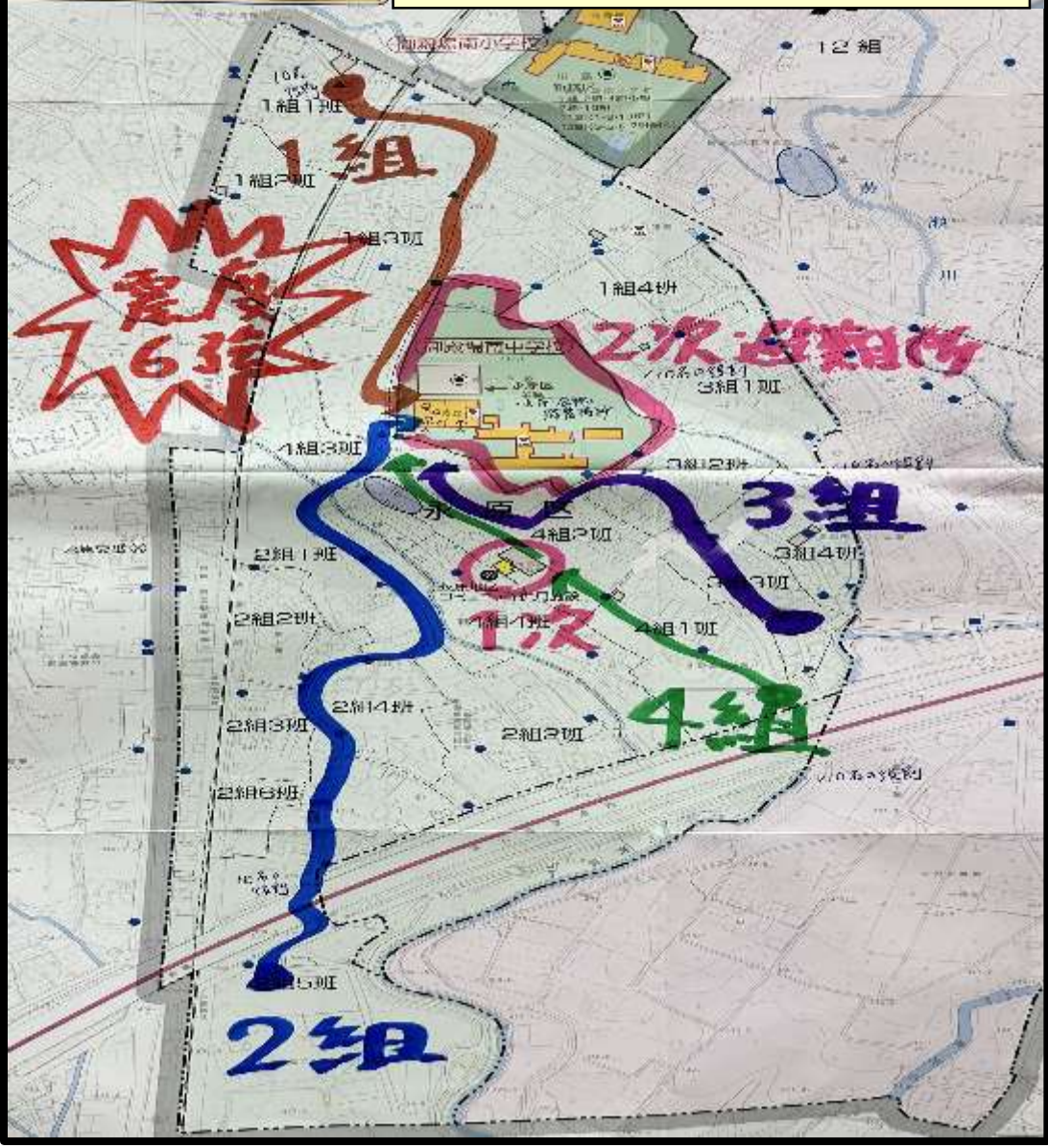
永原区災害対策運営本部	
本部長	
副本部長	
①総務班	
②情報班	
③食料・物資班	
④保健・衛生班	
⑤要配慮者班	
⑥警備・施設管理班	



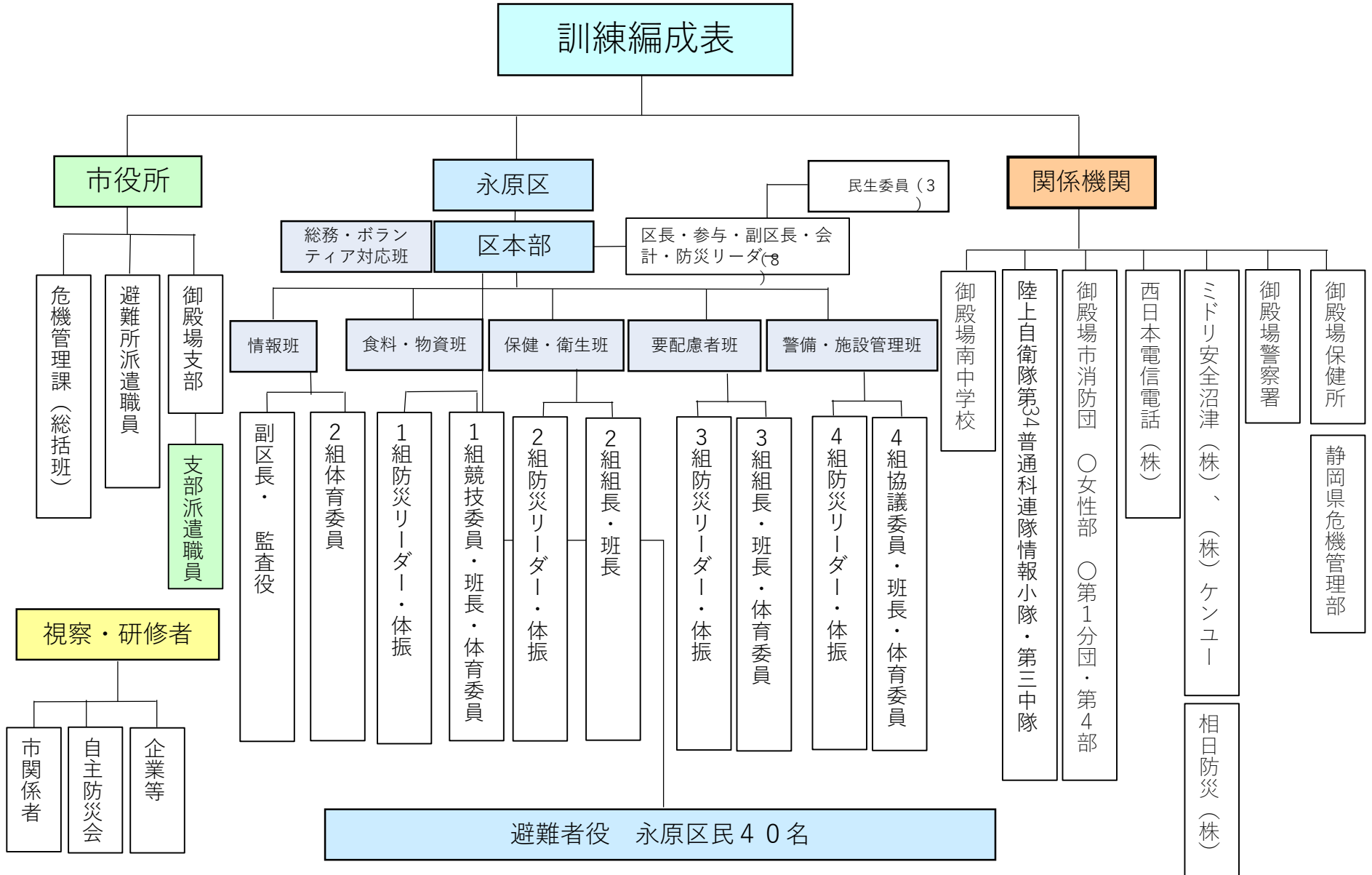
永原区民数：2,103名
 (避難行動要支援者：65名)
 (個別避難計画作成対象者22名)

担任の方の1次避難場所・1次避難経路(避難所、避難所)	南中学校体育館
担任の方の2次避難場所・2次避難経路(避難所、避難所)	本原地区コミュニティセンター
担任の方の3次避難場所・3次避難経路(避難所、避難所)	本原地区コミュニティセンター

令和6年度モデル区訓練 避難経路
 御殿場地区 永原区 (2,103人)
 場所：南中学校 体育館



令和6年度御殿場市地域防災訓練モデル区訓練編成表

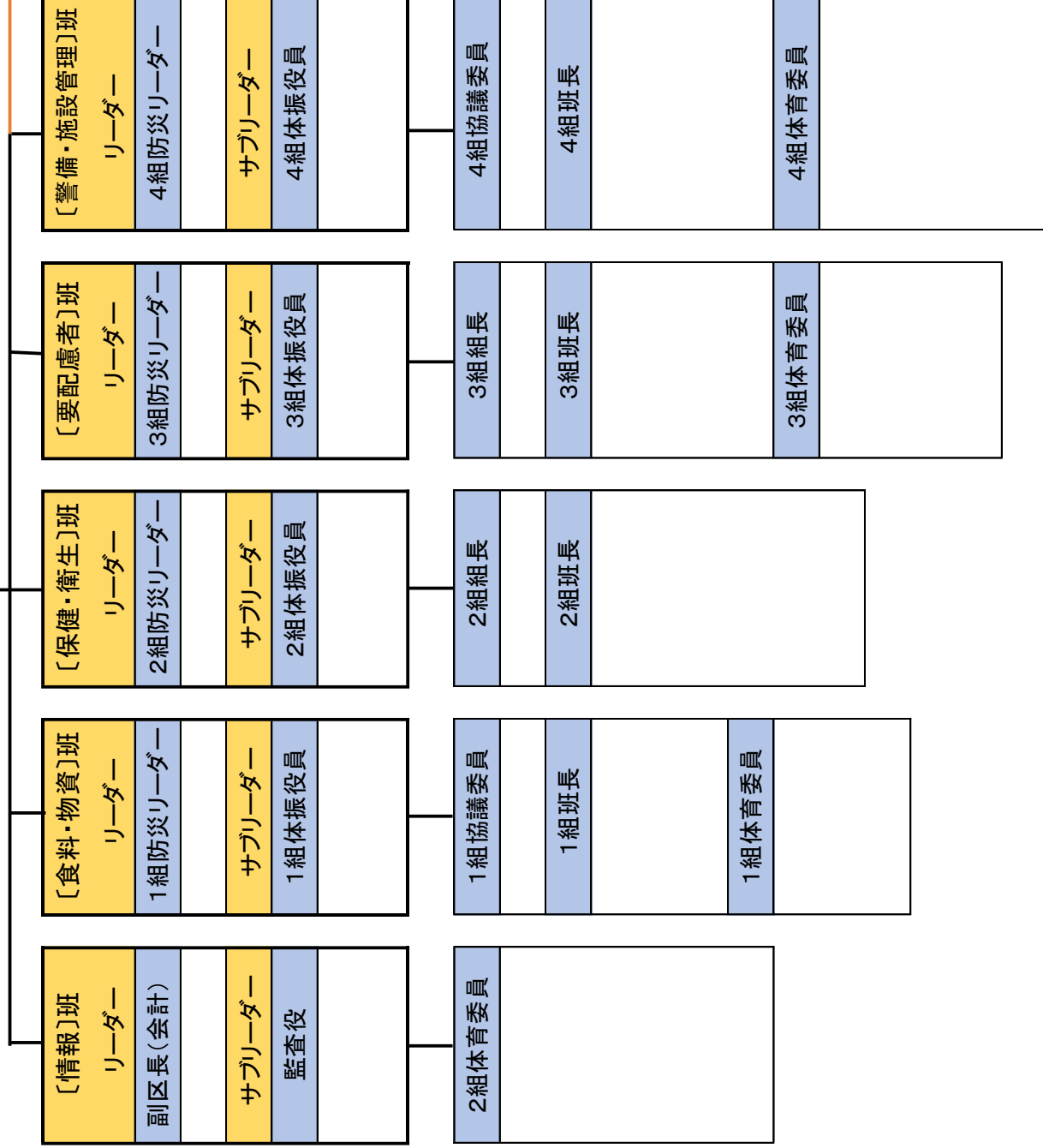


【令和6年度永原区自主防災会組織図・緊急連絡体制】

〔総務・ボランティア対応〕班			
防災会長	防災部長	防災副部長	2次避難体制の 班リーダーが兼務
区長	参与	副区長	会計・防災リーダー

2次避難体制
(立ち上げ時)

民生委員



避難運営組織班
(避難利用者主体:代表者は男性と女性)

2次避難体制
(継続初期~1w)

付与情報	項目区分	実施時間(予定時間)	情報源(だれが)	受意者(だれに)	対応者	件名	情報内容
1	生活ルール の設定	8:30	防災会長	総務班	総務ボランティア 対応班	生活ルール、スケジュール表の作成	避難所での生活ルールとスケジュール(生活時間)を決定して掲示してください。
2	感染症対策の 設定	8:30	防災副部長	保健衛生班 情報班 情報班受付	保健衛生班 班 班	感染症対策のための環境改善	定期的な換気、ドアノブなどのこまめな消毒、避難所の清掃等避難者が交代制で定期的な清掃するようルールを決めて総務班に提出してください。
3	避難者の 受入	8:30	避難者	避難者情報班	避難者情報班	永原区一部損壊家屋からの世帯避難	1組 豪雨さん【男59歳】一部損壊 世帯主、妻【女48歳】、長男【30歳】
4	立入禁止 場所の設 定	8:30	避難所 派遣職員	防災副部長	立入禁止場所の設定	立入禁止場所の設定	御臨場市避難所派遣職員です。避難者が職員室等に入られると困ります。職員室につながる通路やその他の危険な場所を取り巻き立ち入り禁止にしてください。
5	物資支援	8:33	避難所 派遣職員	防災部長	物資班	物資(簡易トイレ、毛布、食料)の配布	追加物資(毛布100枚、食料(パンの缶詰、アルファ米))をお渡します。避難所に届きますので、受入れの準備をお願いします。
6	避難者の 受入	8:35	避難者	避難者情報班 情報班受付	避難者情報班 要配慮者班	永原区全壊家屋からの世帯避難	1組 床上さん【男45歳】全壊 世帯主、母【80歳】 母は軽度の認知症なので、避難所生活が少し心配。
7	情報機材 の設置	8:36	NTT職員	情報班	特設公衆電話の設置等	NTTの依頼ですが、特設公衆電話を開設しますので、担当の方は一緒にお願いいたします。また、電話の状況ですが、全力で復旧作業中です。しばらくご不便をおかけしますがよろしくお願いいたします。	
8	避難者の 受入	8:40	避難者	避難者情報班 情報班受付	永原区全壊家屋からの世帯避難 (高齢者世帯、要配慮者)	永原区全壊家屋からの世帯避難	4組 急傾斜さん【男60歳】全壊 世帯主、妻【女55歳】 妻は避難する際に二転一転しまい、腕を負傷してしまっ
9	トイレ	8:41	避難者	総合 相談窓口	避難者からの要望	避難者からの要望	1組 床上ですが、トイレは使えますか?あと、消毒液などは置かれていますか?
10	ボランティアの ニーズ の把握	8:43	避難所 派遣職員	防災部長	ボランティアの把握と要望	ボランティアの把握と要望	市災害対策本部から情報ですが、約30分後に担当者がニーズ調査に行きますからよろしくお願ひします。避難所内でのニーズを把握しておいて下さい。
11	避難者の 受入	8:45	避難者	避難者情報班 情報班受付	永原区半壊家屋からの世帯避難 (要配慮者)	永原区半壊家屋からの世帯避難	4組 床下さん【男40歳】半壊 世帯主、妻【女40歳】、長男【男9歳】 長男は額から出血。また長男は知的障害があり、療育手帳を所持
12	情報伝達	8:47	避難者	総合 相談窓口	避難者情報班への掲示	避難者情報班への掲示	1組の豪雨ですが、停電はいつまで続くのですか。
13	避難者の 受入	8:50	避難者	避難者受付 情報班	永原区感染症の疑いのある避難者 (発熱者あり 妊婦世帯)	永原区感染症の疑いのある避難者 (発熱者あり 妊婦世帯)	3組 噴火さん【男35歳】半壊 世帯主、妻【女35歳】、母【女62歳】 世帯主は熱があり体調が不良、妻は妊娠6ヶ月
14	避難者の 受入	8:55	避難者	避難者情報班 情報班受付	永原区被害なし(家屋からの世帯避難 (車中避難、ボランティアの要望))	永原区被害なし(家屋からの世帯避難 (車中避難、ボランティアの要望))	2組 逆路さん【男40歳】被害なし 世帯主、母【女66歳】、長女【女38歳】、長女【13歳】 余震が怖いので避難して来た。どこかで地震や食器棚が倒れてしまっって片づけしないと家に入れない。ボランティアをお願いします。
15	ごみ出し	8:55	専用スペース 避難者	専用スペース 受付	ごみ出しルールの徹底	ごみ出しルールの徹底	3組の噴火ですが、食事のごみを出したいのですが、どこに出せばいいのですか。 可燃物、不燃物、空き缶まとめて出してもいいですか。
16	報道対応	8:58	新聞記者	総合 相談窓口	報道機関の取材対応	報道機関の取材対応	テレビ御登場です。取材に参りましたが報道用の駐車場の確保はあります。避難所運営本部はど こですか。インタビューもお願いします。
17	避難者の 受入	8:50	避難者	避難者受付 情報班	永原区イベントを運んだ世帯避難 (高齢者世帯、ベント同行)	永原区イベントを運んだ世帯避難 (高齢者世帯、ベント同行)	2組 耐震さん【女40歳】全壊 妻、母【女62歳】、祖母【80歳】 世帯主と連絡が取れない。乗犬1匹を連れてきた。
18	トイレ	8:50	協定業者	防災部長	協定業者による仮設トイレの設置	協定業者による仮設トイレの設置	災害対策本部ですが仮設トイレが到着しました。ここに設置しましょうか。
19	帰宅困難 者対応	8:53	避難所 派遣職員	防災会長	観光バスへの観光客避難者の対応	観光バスへの観光客避難者の対応	後ほど、帰宅困難者となったバスツアーの旅行者が避難してきます。受入をお願いします。
20	避難者の 受入	8:55	避難者	避難者情報班 情報班受付	永原区アバート半壊からの外国人世帯 (要配慮者)	永原区アバート半壊からの外国人世帯 (要配慮者)	3組 ガルさん【男46歳】アバート全壊 世帯主、妻【女46歳】、アバート主人世帯。世帯主は家具 を下敷きから自力で脱出。左足下部を負傷。自力歩行困難
21	避難者の 受入	9:00	避難者	避難者情報班 情報班受付	永原区一部損壊家屋からの世帯避難 (高齢者世帯、ベント同行)	永原区一部損壊家屋からの世帯避難 (高齢者世帯、ベント同行)	4組 朝顔さん【男60歳】全壊 世帯主、父【男92歳】 ベント同伴での避難。今、避難してききましたが、たはははここで吸えばいいですか。
22	要配慮者 窓口相談	9:01	避難者	要配慮者 相談窓口	福祉避難所への移送依頼	福祉避難所への移送依頼	4組 床下ですが、息子は避難所の環境に適応できず興奮状態が続いており奇声を発して います。どこか別の場所に移してもらうことはできませんか。
23	安否確認	9:03	来客者	総合 相談窓口	住民の安否確認	住民の安否確認	すみません。1組の床上さんは避難してきていますか。
24	避難者の 受入	9:05	避難者	避難者情報班 情報班受付	永原区一部損壊家屋からの世帯避難 (ベント同行)	永原区一部損壊家屋からの世帯避難 (ベント同行)	3組 海清さん【女40歳】一部損壊 次男【男18歳】 猫1匹を連れてきた。ベントはどうしたらいいか。
25	健康支援	9:06	避難所派遣 職員	防災副部長	体調不良者の把握	体調不良者の把握	本部より避難所の健康支援に来ました。 体調不良の方や怪我をしている方の人数や状況を教えてください。
26	物資支援	9:08	避難所派遣 職員	防災部長	支援物資の到着	支援物資の到着	市の避難所派遣職員です。物資を持ってきてきましたので受入れをお願いします。
27	警備	9:08	避難所 派遣職員	防災会長	避難所内外の巡回	避難所内外の巡回	避難所派遣職員ですが、防火・防犯のため2時間に1回2人1組で巡回してもらえませ んか。
28	避難者の 受入	9:10	避難者	避難者情報班 情報班受付	永原区全壊家屋からの世帯避難 (発熱者あり)	永原区全壊家屋からの世帯避難 (発熱者あり)	4組 遠州瀬さん【男41歳】全壊 世帯主、妻【女40歳】、長女【女10歳】妻は熱と咳がひど い。
29	ボランティ アのニーズ 調査	9:12	避難所派遣 職員	防災部長	ボランティアニーズの調査	ボランティアニーズの調査	市のボランティア担当職員ですが、ボランティアニーズの調査に参りました。 ボランティアニーズがあれば教えてください。
30	避難者の 受入	9:15	避難者	避難者情報班 情報班受付	永原区感染症の疑いのある避難者 (発熱者あり)	永原区感染症の疑いのある避難者 (発熱者あり)	3組 風呂さん【男50歳】一部損壊 世帯主、母【女88歳】 妻は咳から来る。母は熱と咳がひどいですが、どこか部屋はありますか。私が面倒を見 るので避難場所は一緒にしてほしい。
31	避難者の 受入	9:18	避難者	避難者情報班 情報班受付	永原区一部損壊家屋からの世帯避難 (ベント同行)	永原区一部損壊家屋からの世帯避難 (ベント同行)	1組 一部損壊 長男【男20歳】、次男【男18歳】 犬1匹を連れてくる。(世帯主不在での避難)
32	帰宅困難 者対応	9:20	ツアーの 代表者	防災会長	観光バスへの観光客避難者の対応	観光バスへの観光客避難者の対応	観光ツアーの途中で地震に遭遇しました。高速度道路や国道が通行止めになりしじらく閉じま せん。対策本部の指示を受け避難して参りました。ツアー客の中に少し具合の悪い方がいま す。道路が復旧するまで入れてもらえませんか。

避難所運営上必要な事項

◇ 避難所運営本部の設置

- 自主防災組織中心の避難所運営が基本
- 行政職員や施設職員に依存し過ぎない。
- ボランティアの力を最大限活用

◇ 各班(6)の活動内容(役割分担) ⇒ 永原区バージョン

① 総務・ ボランティア班	運営本部会議の事務局、運営・記録、生活ルールの作成 取材対応、市本部・地域との連携、他班への応援
	ボランティアニーズの把握、派遣要請、受入
② 情報班	受付・案内、名簿管理、問い合わせ対応
	情報収集、情報伝達、情報発信
③ 食料・物資班	食料・物資の調達、炊き出し、食料・物資の受入 物資の管理・配給
④ 保健・衛生班	トイレ、衛生管理、傷病者への支援、生活用水の確保 ペット、ごみ、掃除、風呂
⑤ 要配慮者班	要配慮者スペースの確保、相談窓口の設置 要配慮者の状況・ニーズ把握、福祉避難所への移送
⑥ 警備・ 施設管理班	安心・安全な避難所作り、防火・防犯
	訓練時の安全確保(車両事故防止、歩行者・車両の誘導)

令和6年度地域防災訓練モデル区訓練時程

時間		08	09	10	11					
業務全般		<p>地震発生</p> <p>★初動行動</p> <p>①支部・避難所開設訓練</p>	<p>②支部運営訓練 (08:40~10:45)</p> <p>②避難者受入れ委訓練 (08:30~09:30)</p> <p>④避難所運営状況の研修 ⑤避難所体験・防災教育 (09:30~10:45)</p>	<p>③避難所継続運用訓練 (09:30~10:45)</p>	<p>④訓練振り返り (10:45~11:00)</p> <p>⑤閉会式</p>	撤収				
市長視察		訓練視察・激励・閉会式(講評)								
永原区自主防災会	区本部・区役員	①2次避難所開設訓練 (08:10~08:30)	避難者受入れ訓練 (08:30~09:30)	③2次避難所継続運用訓練	④訓練内容の振り返り					
	被災者役	①班避難場所集合・状況把握	②市指定避難所(南中)へ移動	③避難者役としての行動 (08:30~09:30) 各組×10名基準(計40名) 参加者:各人に役割を付与		<ul style="list-style-type: none"> 総務・ボラ対応班: 情報班: 食料・物資班: 保健衛生班: 要配慮者班: 警備・施設管理班: 				
							④避難者受入れ訓練見学 (展示担当班 (08:30~09:30))	⑤避難所体験・防災学習 (09:30~10:45) (体験・学習後解散)		
									一般参加者	⑤閉会式
2組										
	3組									
4組										
	管理者	南中学校	①2次避難所開設訓練 (08:10~08:30)	②避難所受入れ訓練 (08:30~09:30) ・施設管理、区避難所運営支援	③2次避難所継続運用訓練 全般支援 (09:30~10:45)	(10:45~11:00)				
行政	避難所派遣職員				(11:00~11:15)					
	御殿場支部 (支部派遣職員)	①支部開設	②支部運営訓練 (08:30~09:30) ・区との連携、状況把握、支援業務							

避難所運営本部の行動

◇ 各班(6)の活動内容 ⇒ 永原区バージョン

① 総務・ボランティア班	①生活ルールの設定、⑩報道対応、⑱帰宅困難者の受入要請
	⑩ボランティアニーズの把握、⑭避難者からのボランティア要請、⑲ボランティアのニーズ調査
② 情報班	③⑥⑧⑪⑬⑭⑰⑳㉑㉔㉘㉚㉛㉜避難者の受付・案内
	⑦特設公衆電話の設置、⑫情報掲示板の設置、㉓住民の安否確認
③ 食料・物資班	⑤物資の受入準備、㉖物資の受入・配給
④ 保健・衛生班	②感染症対策のための環境改善、⑧⑪㉗負傷者の応急処置、⑨トイレの使用、⑮ゴミ出しルールの徹底、⑰㉔㉛ペットの受入、⑱仮設トイレの設置、㉕㉘体調不良者等の把握
⑤ 要配慮者班	⑥⑪⑬⑰㉗㉙要配慮者の把握、㉚相談窓口対応 ㉕㉚体調不良者等の把握
⑥ 警備・施設管理班	④立入禁止箇所の設定、㉙避難所内外の巡回



避難所設営・運営全般図 (レイアウト)



避難所の全景図



防災教育・展示エリア



区本部エリア



宿泊用スペース



専用避難スペース

避難所運営本部（支部・区・避難所派遣職員）



避難所運営本部（各班①）



マスク対応



区本部会議



警備・施設管理班内打合せ



区本部会議



避難者受付（防災アプリ使用による名簿管理）



要配慮者情報の確認

避難所運営本部（各班②）



避難所運営本部（各班③）



避難所継続運営訓練



防災教育・装備展示



ミドリ安全(株)・(株)ケンユーによる簡易トイレ



NTT西日本株による災害用伝言ダイヤル



永原区自主防災会による防災教育



危機管理課よる防災用品の展示



女性消防団による救急救命訓練



相日防災(株)による防災グッズの展示



家具固定用品の説明



第34普通科連隊 (1tトレーラー・炊事車)



避難所運営マニュアル (壁新聞版)

閉会式





発行所
株 岳麓新聞社
御殿場市新橋669-25
電話0550820080
編集 0550820088
FAX0550820088
広告専用 電話0550828321

ペット・人形
供養
三明寺
人形供養三明寺 検索
ペット供養三明寺 検索
055-929-2323
沼津市大塚三明寺40511門前5221

1日に地域防災訓練 自助・共助を強化

県内の各自主防災会を中心とした県地域防災訓練が12月1日、県内各所で行われる。御殿場、裾野、小山2市1町では、小中・高校生を含む地域住民約3万1000人が参加し、大規模地震、富士山噴火などを想定して訓練を行う。

地域防災訓練は「地域防災の日」にちなみ、地域の特性に応じた自助・共助を主体に防災体制の確立と防災意識の高揚による「減災」が目的。今年は、元日の令和6年能登半島地震発生や9月の制度運用開始以来初の「南海トラフ地震臨時情報・巨大地震注意情報」発令など、巨大地震に関与することが多く、市民の防災意識が高い中で訓練になる。地域状況に応じた、安否確認や避難訓練、誰もが安心して避難生活を送れる避難所運営訓練などを実施して地域防災力の強化を目指す。訓練は、大規模地震、火山噴火、津波の発生などを想定。

【御殿場市】午前9時から、モデル区の永原区、御殿場区を除いた市内57の自主防災会が各地区コミュニティセンター、公民館、小・中学校など約60か所を会場に市民約2万6000人が参加する。訓練は仮想の10月15日に紀伊半島沖を震源に発生した令和南海地震(M8.8、震度6弱)以降、富士山の火山活動が高まり、気象庁が11月3日に臨時火山情報を発表した。その後、段階的に警戒レベルが上がり、12月1日午前9時に噴火して溶岩流の流下を確認し、市民に避難指示を発令した。この訓練は、各自主防災会、市消防団、消防隊を中心に陸上自衛隊板妻第34普通科連隊、事業所などが参加して感染症対策をしながら、安否確認と避難、避難所運営、救命応急手当、初期消火、炊き出し、高齢者など災害弱者の避難誘導を行う。重点項目は▽各区富士山火山避難計画の説明▽黄色いハンカチ作戦▽非常持ち出し袋の携行▽戸別受信機の乾電池の点検・交換。御殿場区は8日に地域防災訓練を実施する。

【裾野市】午前9時30分から、不二聖心女子学院で富士山火山噴火を想定し、桃園区民約10人、市消防団員約10人、陸上自衛隊板妻第34普通科連隊隊員などが参加し、ヘリコプター誘導訓練を実施する。同区は浸水想定区域と土砂災害計画区域で、6月1日に市モデル地区として水防・土砂災害防災訓練を実施した。訓練時に市が富士山火山噴火時に区域周辺を流れる黄瀬川に溶岩流が流れた場合、一時的な孤立が予想されることを話したため、今回の誘導訓練を実施することになった。

訓練では区民と消防団員の代表がヘリコプター誘導時の誘導を行う。【小山町】町内自主防災会40区で訓練を実施し、町民約5000人が参加する。モデル地区訓練は午前10時から、町立北郷小学校で行い、一色、前9時に神奈川県西部大胡田、上古城、下古城の4区民、町職員、地震が発生し、町内で

御殿場南高校1年生 駅前学習室を独自開設

駅前学習室を独自開設

県立御殿場南高校1年の掛本萌衣さん、勝又朝日さん、柴田結希さん、鈴木誠士郎さんをつくる地域探究サークル「チープロ」はこのほど、JR御殿場駅富士山口前のまちづくり拠点「きよてんば」に学習室「御殿場未来」を開設し、試験運用を始めた。

学習室は、生徒が学習を教え合い、交流する場を作るなどが目的。掛本さんらは7月に探究学習でサークルを作る、9月に開催されたJR御殿場駅周辺の活性化を目指す「御殿場100人ミライ会議」に参加した。掛本さんらは駅周辺には放課後利用できる学習室が少なく、富士山市民のサロン「けやきかみん」では制限があるため、自由に学習を教え合える空き家を活用した学習室開設を提案した。名称は「生徒・学生同士で交流し、市の未来をつくる人材となる」という願いを込めた。掛本さんらは教室開始を友人らに説明したが、初日の利用者は1人、2日目は1人だった。掛本さんらは「ちらしを作り、校内昇降口で1、2年生を対象に200枚配布して広報に努め、21日には定員の25人が利用した。同日は探究学習の支援に訪れた静岡大学教育学部3年生8人、4年生4人の計12人が参加し、生徒の数学や日本史などの質問に答えた。同校1年石山明希里さんは「皆で話し合って勉強すると理解も深まる。また利用したい」と話した。掛本さんらは「多くの生徒が利用してくれてうれしい。広報の大切さを実感した。今後は御殿場南高生だけでなく、他校の生徒・学生にも利用してもらえよう運用を考えたい」と話した。



きよてんばで学習する御殿場南高校生徒

家庭倒壊など大きな被害が発生した。町は災害対策本部を設置し、町内各所に避難所を開設して救援活動を開始した。この想定。会場では起震車体験や自衛隊の野外炊事車を使用した炊き出し、ペット同行避難講座、町防災士の女性防災士有志らによる女性目線の非常持ち出し品モデル展示などを行う。

令和六年度 御殿場市地域防災訓練 モデル区(永原区)訓練



発行所
株 式 青 葉 新 聞 社
御殿場市市町新築669-25
電話0550820080
FAX0550820088
御 網
株 式 青 葉 新 聞 社
御殿場市市町新築669-25
電話0550820080
FAX0550820088
御 網

ご葬儀一式承ります
青葉ホール
電話〇五五〇八三一八一六二番
御殿場乙女口より徒歩十五分

御殿場市地域防災モデル区訓練

永原区で自助・共助高める

御殿場市永原区(土屋正区長)は24日、区内や市立南中学校を会場に突発型の大規模地震災害を想定した「令和6年度市地域防災訓練・モデル区訓練」を実施し、区民、市職員、県、民間事業所、陸上自衛隊板敷第34普通科連隊、永原区以外の自主防災会員など約700人が参加して地域防災力を高めた。



太陽光発電装置で調理する永原区民ら

今回は相模トラフを震源とする大規模地震が突発発生し、市内で震度7を観測した。被災により、市内各所で家屋の倒壊、道路損壊、橋梁落下などの被害が発生し、家員などの転倒

や家屋倒壊で多数の死者を見込み、交通機関やライフラインに大きな被害が生じて使用できなくなったなどと想定。訓練では、家庭内の安全確保、情報収集、伝達、避難所運営、衛生管理、要配慮者支援、受援体制の構築、避難所内外での防犯・警備活動などを行い自助・共助力の向上を図った。食料・物資は太陽光発電装置を用いた調理で温かい食べ物を提供するなどの実証実験を行った。視察した勝又正美市長は「今回はベットの同行避難、要配慮者への円滑で適切な対応、感染症拡大防止などをテーマに実施して大変良かった。区独自で支援の受け入れと統制の訓練を

寄り道マルシェ まちがオシャシな空間に

御殿場市民らでつくる「寄り道マルシェ実行委員会」(加藤照美実行委員長)は24日、鶴沢商店街で中心市街地活性化事業「寄り道マルシェ」を初開催し、御殿場、小山両市町の買い物客でにぎわった。実行委員会は市民らでつくる御殿場100人ミラノ会議から派生したグループ。催しは空き店舗や私有地の余白空間に雑貨店を出店し、商店街を回遊してもらい、まちの姿を来場者と住民などに体感



出店者と交流しながら買い物をする親子

実施し、防災力を高めてくれた。支援物資は入ってくるが、仕切り役と配布役が重要になる。今後も継続して訓練を実施し、地域の実情に合った防災力を高めていく」と話した。12月1日の地域防災訓練には、モデル区を

除く市内57自主防災会が参加して、市民など約2万6000人が大規模地震、富士山噴火などを想定した訓練を実施する。御殿場区は8日に実施する。問い合わせは市危機管理課(☎82・4370)へ。

は令和6年度市一般特別会計補正予算案など16案件を上程する。**開 12 月 定 例 会 会 舘 野 市**

舘野市議会は25日、12月定例会を開会し、会期を12月10日までの16日間に決めた。市当局は12案件を上程した。一般審問は4日から6日まで行われ、議員7人が登壇する。

親子英語 参加者募集
御殿場市 御殿場市民会館は12月13日午前10時から和室で市民カルチャー教室「0歳からの親子えいご教室」を開催する。教室ではクリスマスをテーマに歌やダンス、読み聞かせなどで英語を学ぶ。対象は6か月から3歳までの親子。定員は先着8組。受講料は1530円。申し込みは市文化会館(☎83・8000、F



発行所
 株岳麓新聞社
 御殿場市新橋659-25
 電話 055-022-2008
 FAX 055-022-0088
 代表取締役 北村 055-022-6321

三代目 三明寺
 牛前中込可
 電話 33万41
 宗親不問
 やすらぎ 三明寺
 本行折当三明寺
 電話 055-929-2323
 3号市大田三明寺055-929-2323

中北駿で地域防災訓練 自助・共助の力を高める

県内の各自主防災会を中心とした県地域防災訓練が1日、県内各所で行われた。御殿場、裾野、小山2市1町では晴天の下、乳幼児や小・中・高校生を含む地域住民約2万6000人が参加して大規模地震、富士山噴火などを想定した訓練を実施し、地域防災力を高めた。

地域防災訓練は「地域防災の日」にちなみ、地域の特徴に応じた自助・共助を主体にした防災体制の確立と防災意識の高揚による「減災」が目的。地域状況に応じた安否確認や避難訓練、誰もが安心して避難生活を送ることができるよう避難所運営訓練などを実施して地域防災力の「質」の強化を目指す。訓練は、大規模地震、富士山噴火、津波の発生などを想定。

【御殿場市】午前9時から、モデル区の永原区、御殿場区を除いた市内町の自主防災会が各地区コミュニティセンター、公民館、公園、幼稚園、小・中学校など約60か所を会場に市民2万1028人が参加した。訓練は、10月15日に紀伊半島沖を震源に仮想の令和南海地震(M8、震度6弱)が発生以降、富士山の火山活動が活まり、気象庁が11月3日に臨時火山情報を発表した。その後、段階的に警戒レベルが上がると、12月1日午前9時に噴火して磐石川の流下を確認し、市民に避難指示を発令した一など想定。

防災訓練は、各自主防災会、市消防団、大防隊を中心に陸上自衛隊飯沼第34普通科連隊、事業所などが参加して感染症対策などを行いながら、黄色いハンカチ作戦、女西備説、避難所運営、救命・応急手当て、初期消火、炊



毛布の応急担架で緊急搬送する参加者ら=御殿場市



炊き出しを配るJA女性部長ら=小山町

き出し、高齢者など災害弱者の避難誘導を行った。

秋原区(野木明宏区長)は秋原公民館などを会場に防災訓練を実施し、区民627人が参加した。

区内は、東西に小山川が流れ、北側に国道246号、西側に国道138号、主要国道3道が走り、市役所や市民会館、市立図書館、中央公園など主要な公共施設がある住宅密集地。国道や県道沿いに大型商業施設がある。同区では区域が広いため、モデル班が持ち回りを実施訓練を行っている。

今回は区内四町の人がモデル班になり、神明会館などを会場に約77人が参加して、AEDによる心肺蘇生、初期消火訓練、非常食の試食などをを行い、自助・共助の重要性を再認識した。炊飯搬送訓練では、市消防団員と一緒に毛布やカーテンなどの布や竹ざおで作った応急担架による緊急搬送を体験し、迅速で安全な搬送方法を学んだ。

【小山町】午前9時から、自主防災会40区約3000人が参加した。訓練は、神奈川県西部を震源とするM7の地震が発生し、家屋倒壊など大人数が被害が発生した一を想定。

町立北郷小学校では一色、大胡田、古城、下古城の4区(793世帯、2230人)がモデル地区訓練を実施し、住民、町職員、陸上自衛隊飯沼第34普通科連隊、町消防団など約200人が参加した。込山正秀町長は開会式で「元日に発生した令和6年能登半島地震ではいまだ復旧が終わらず、被災地は正月を迎える。今回の訓練想定は約100年前の関東大震災と同規模で、当時は町内で150人が亡くなり、住宅など5000戸が倒壊した。いつ起こるか分からない地震に備えよう」とあいさつした。

JA女性部北郷支部と陸上自衛隊は野外炊事場で豚汁とアルファ米のおにぎりの炊き出し訓練を実施し、ベトナム同行避難訓練、町防災士会女性防災士有志の100円グッズを活用した非常持ち出し袋の展示を行った。町職員などは「炊き出しが行われるのは早くても発災から3日以上経過してからになる。パンやビス